

一流の講師に学ぶ社会塾 ひとよしくま熱中小学校第3期授業開講

「ひとよしくま熱中小学校」の第3期授業を10月22日に開講しました。同校は、「もういちど7歳の目で世界を…」をテーマに全国で活躍する一流の経営者や大学教授らが授業を展開する「学びたい大人の社会塾」。

第3期は137人が入学。くまもとオンラインで授業があり、第1回はデジタルソサエティー研究家の小泉耕二さんと、本市出身のマジシャン・KiLaさんが講師を務めました。今期は来年3月までの半年間に6回の授業を予定しています。



マジシャンのKiLaさんは目的を叶えるために大切なことを授業

石畳や白壁にアニメの世界現る アニメ『夏目友人帳』影絵の点灯

緑川ゆきさん原作のテレビアニメ『夏目友人帳』の影絵の点灯が10月7日から鍛冶屋町通りで始まりました。投影は来年3月までを予定。同アニメを活用した観光振興に取り組む熊本県と、まちに明かりをとすプロジェクトに取り組む地元団体が連携して実現したものです。

初日の点灯式では県の原山観光戦略部長が、「夏目友人帳の世界観を楽しみながら、人吉・球磨の魅力に触れてほしい」とあいさつ。道路や壁面の4カ所に影絵が映し出されると、大きな歓声が上がりました。



全国初の取り組みにアニメファンからも大きな反響が

みんなで考える人吉の未来 ひとよし未来カフェ開催中

市民と共にまちづくりを進めていくことを目的に、松岡市長が各町内や団体を訪れて市民と語り合う地域座談会「ひとよし未来カフェ」を3年ぶりに開催しています。

今年度の1回目は10月6日に七地町内会を対象に開催。会では松岡市長が、豪雨災害後の復興状況や市の取り組みなどについて説明した後、市民からは市政に対する質問のほか、地域の困り事や要望などがあがりました。今後、各町内を中心に開催予定ですので、ぜひご参加ください。



七地町での様子。町内からは16人が出席した

球磨栗の絶品スイーツ並ぶ 復活！くまろんフェア2022

人吉球磨で栽培され、全国の料理人や菓子職人から高い評価を得ている「球磨栗」を使ったパンやスイーツが楽しめる「くまろんフェア」を3年ぶりに開催。人吉球磨の28店舗が協力し、10月の1カ月間に各店舗が趣向を凝らした逸品を提供しました。

2回目の参加となったBonBonベーカリー（上薩摩瀬町）ではマロンホイップパイとマロンデニッシュを用意。津田愛里店長は「くまろんフェアでお客さまが増えてうれしい」と話しました。



商品は店のみんなで意見を出し合って開発

戦争のない世界願う 令和4年度人吉市戦没者追悼式

先の大戦で命を落とした戦没者を慰霊し、平和への誓いを新たにするため、10月1日にカルチャーパレスで人吉市戦没者追悼式を行いました。

戦没者に黙とうをささげた後、市遺族会会長の才尾弘太郎さんが「戦争を知らない世代が多くを占める今日、私たちは先の大戦から学んだ多くの教訓をいつまでも風化させることなく後世に語り継ぐ」と追悼の言葉。その後、参列した遺族87人は1441柱の英霊に花を手向け、手を合わせ、世界の恒久平和を願いました。



戦没者に花を手向け手を合わせる遺族

きれいなトイレをありがとう 東間小 洋式トイレ贈呈式

医薬品や芳香剤などの企画・製造・販売を行っている小林製薬株式会社から東間小に洋式トイレ2基が寄贈され、9月28日に贈呈式が行われました。児童に快適なトイレ空間を提供したいと同社が実施している社会貢献活動「小学校に洋式トイレプレゼント！」に、同小が応募したことがきっかけ。

贈呈式の後には同社社員による特別授業があり、児童たちはトイレが汚れたり臭くなったりする原因や掃除の仕方など、トイレを快適にする方法を学びました。



同小への寄贈は全国で138校目

情報通信技術で地域課題を解決 未来型復興に向けたスマートシティアイデアソン

未来型復興を目指し、「人吉市スマートシティ（情報通信技術を活用してさまざまな課題を解決し、運営される都市）推進計画」策定に向けたアイデアソン（新たなアイデアを作り出すことを目的としたイベント）を開催しました。

同計画では、市民の関心が高い防災や観光などの5分野に重点的に取り組む予定で、アイデアソンには関連部署の市職員が参加。各分野の課題について、くまろに入居するITの専門家から解決策の助言をもらい、それらを整理し発表しました。



今回出たアイデアは、同計画への反映に向け検討する

被災者の住まい確保に向けて 買取型災害公営住宅整備事業安全祈願祭

令和2年7月豪雨災害で住宅を失った被災者の住まいとして市が整備する災害公営住宅の安全祈願祭が、10月10日に執り行われました。

同住宅は、相良町の旧人吉球磨能力開発センター跡地に建設を予定。鉄筋コンクリート造り6階建てで120戸を計画し、誰でも気軽に交流ができるような集合住宅を目指しています。

建設などを民間事業者が行い、それを本市が買い取るという手法で事業を進めていて、令和5年11月上旬に引き渡し予定です。



神事で工事の無事を願った